

令和4年4月27日（水）
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

大宮国道事務所発注R4川越地区外交通安全対策工事にて
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「見積活用方式」
「余裕期間制度」を試行します。
併せて「難工事指定」「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注するR4川越地区外交通安全対策工事は、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されたため、以下の（１）（２）（３）を試行、（４）（５）を採用します。

（１）「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績および賃上げの実施を加算点としています。

（２）「見積活用方式」

市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

（３）「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を試行します。

（４）「余裕期間制度（フレックス方式）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

（５）「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局	大宮国道事務所	電 話	048-669-1200（代）
副所長（技）	木住野 誠（きずみの	まこと）	（内線 205）
交通対策課長	齋藤 隆裕（さいとう	たかひろ）	（内線 471）

R4川越地区外交通安全対策工事

《工事概要》

- (1) 工事場所: 埼玉県川越市大袋新田地先 外
- (2) 工期: 契約締結の翌日から令和5年3月15日まで(予定)
- (3) 入札方式: 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)
- (4) 工事種別: アスファルト舗装工事 A+B
- (5) 工事内容(概要) 切削オーバーレイ 約11,000m² 区画線 約9,500m
小型標識 約5本

《公募型指名競争入札方式について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係わる公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績および賃上げの実施としています。

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費 防護柵工のうち 路側防護柵工

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定について》

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡し完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任(監理)技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象となります。

《余裕期間制度(フレックス方式)について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和5年3月15日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《施工箇所が点在する工事の積算について》

○点在する工事箇所

川越地区(川越市大袋新田地先) おおふくろしんでん	入間1地区(入間市小谷田一丁目地先) こやた
入間2地区(入間市宮寺地先) みやでら	上尾1地区(上尾市瓦葺地先) かわらぶき
上尾2地区(上尾市上地先) かみ	北本1地区(北本市北本四丁目地先) きたもと
北本2地区(北本市深井五丁目地先) ふかい	鴻巣地区(鴻巣市下忍地先) しもおし
行田1地区(行田市野地先) の	行田2地区(行田市持田一丁目地先) もちだ
熊谷地区(熊谷市久保島地先) くぼしま	

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書 交付	: 令和 4年 4月27日(水)
○技術資料等の提出期限	: 令和 4年 5月17日(火)
○入札書・工事費内訳書 提出期限	: 令和 4年 6月 9日(木)
○開札日	: 令和 4年 6月14日(火)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

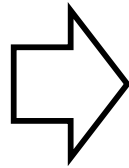
対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

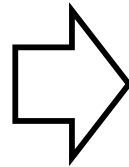
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

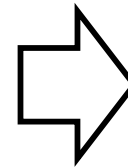


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



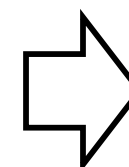
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

3/3

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上